

2023年11月30日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

はくい農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な商品提供 【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2023年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	4 (前年度末:4)
株式型	5 (前年度末:5)	6 (前年度末:6)
REIT型	2 (前年度末:2)	3 (前年度末:3)
バランス型	8 (前年度末:8)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

長期投資

- ▶ 長期投資を前提とした投資信託であること

手数料

- ▶ 手数料が良心的な水準であること

運用実績

- ▶ 過去の運用実績が相対的に良好であること

将来性

- ▶ 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

運用体制

- ▶ 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方: JAバンクHP
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

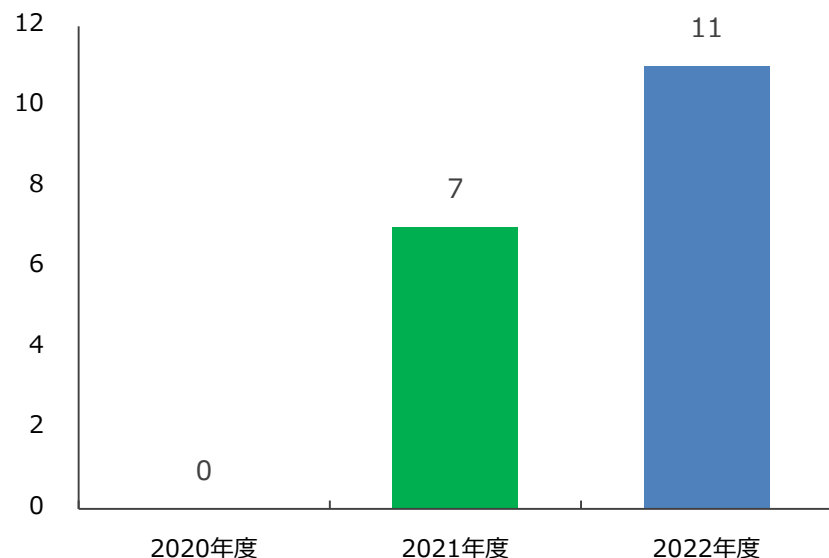
I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供①【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

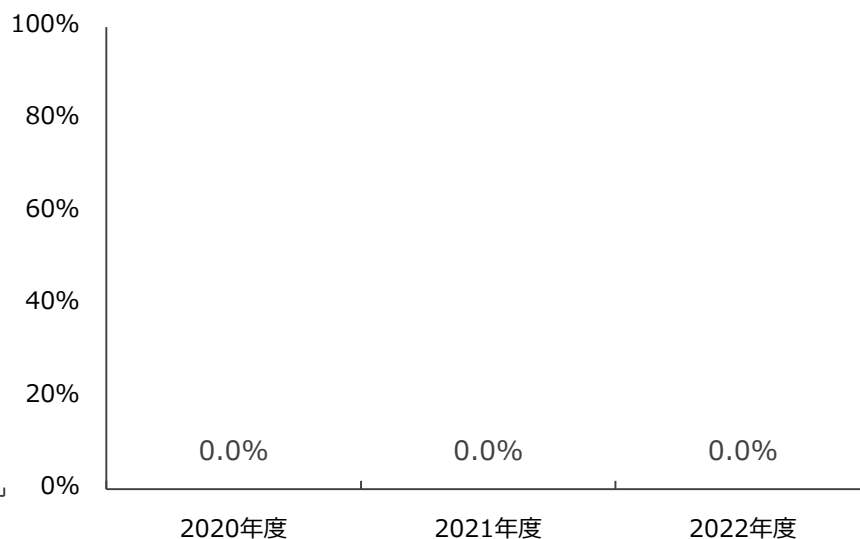
- お客さまに安定的な運用成果をご享受いただくために、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客さまが増加し、「毎月分配型ファンド」の販売はありませんでした。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供②【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク セレクトファンドマップ

2023年4月17日

リスク・リターン 小 ← → 大

	安定型	中間型(安定～中間)	中間型(中間～積極)	積極型
コア	シンプル プロデュース シリアル	農林中金(パートナーズ) 日米6資産分散ファンド(資産形成コース) スウィッチング可 HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型) HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出し型)	農林中金(パートナーズ) 日米6資産分散ファンド(資産形成コース) コア・サテライト戦略 セゾン・グローバル(バランス)ファンド HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	シンプル プロデュース シリアル
債券	シンプル プロデュース シリアル	J A日本債券ファンド Oneニッポン債券オープン グローバル・インカム・フルコース(為替リスク軽減型)	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル
債券	シンプル プロデュース シリアル	スウィッチング可	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル
株式	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル
REIT	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル	シンプル プロデュース シリアル

左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かる!

コア・サテライト戦略について

JAバンクのセレクトファンド

主な決定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、適度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって最善の提案を目指し、投資信託を厳選してご提案いたします!

はくし農業協同組合 登録金融機関 北陸財務局長(登金)第107号

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」(金融事業者編)

1. 当組合の基本情報 (当組合はお客様に金融商品の販売【又は販売仲介】をする者です)

組合名	はくし農業協同組合
登録番号	北陸財務局長(登金)第107号
加入協会	あひまん
当組合の概要を記したウェブサイト	https://www.is-ja.jp/haku/

2. 取扱商品 (当組合がお客様に提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

貯金(投資性なし)	○	貯金(投資性あり)	-
国内株式	-	外国株式	-
円建債券	-	円建債券	-
特殊な債券(社債債券)	-	投資信託	○
ファンドラップ	-	ETF、ETN	-
REIT	-	その他の上場商品	-
保険(投資リスクなし)	○	保険(投資リスクあり)	-

○他に共通を取扱っております。

3. 商品ラインアップの考え方 (商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです)

「JAバンクでは、いろいろな投資に関する好み」に合った商品を選ぶと、お客さまにとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞って「JAバンク セレクトファンド」をご用意しております。

「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、主に以下の基準をもとに商品を選定しております。選定にあたっては外部有識者の知見も踏まえ検討しており、定期的な各商品の運用実績などのモニタリングも行ってまいります。

①長期投資 可能な購入に向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること。(いわゆるテーマ型ファンドではないこと)

②手数料 手数料が良心的な水準であること

③運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること

④将来性 これら将来に向けて資産を築いていく資産形成に向けては、適度に分配金を捻出する投資信託ではないこと

⑤運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

-上記の考え方については、ホームページにも掲載しております。

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousisintaku/select/>

-なお、投資に関する好みについては、JAバンクでは、都度組合員・利用者の皆さまの皆さまのリスク許容度(※1)を確認し、リスク許容度に沿った個別商品をご案内しております。

※1：リスク許容度は、ご自身の儲けたい額を許容できるかを事前に診断するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4分類し、それぞれのリスク許容度に沿った複数商品をご用意しております。

4. 当情・相談窓口

当組合お客相談窓口	0767-26-3340
加入協会共通の相談窓口	あひまん
金融庁金融サービス利用者相談室	0570-016811 (03-5251-6811)

I.取組状況

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- JAバンクでは、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

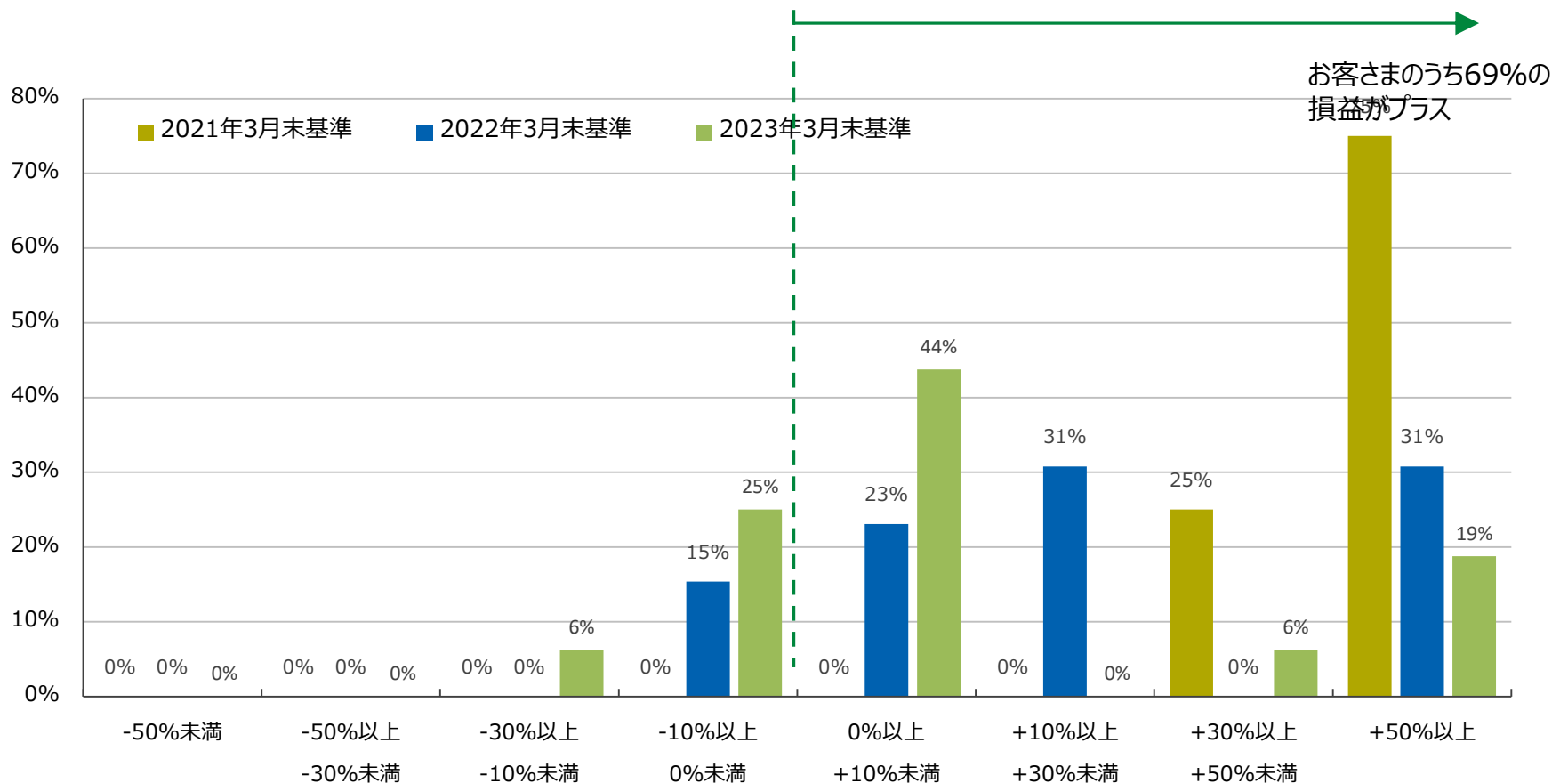
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則7本文および(注)】

- JAバンクでは、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 米国の急速な利上げ、ウクライナ情勢等により、昨年度より損益が減少しておりますが、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2023年3月末時点では全体の69%のお客さまの損益がプラスとなりました。

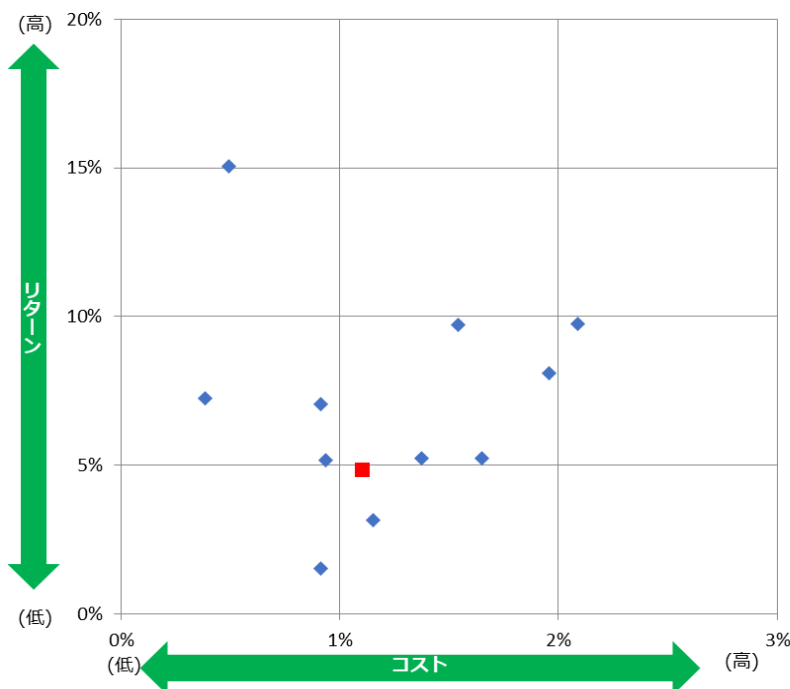


Ⅱ.比較可能な共通K P I

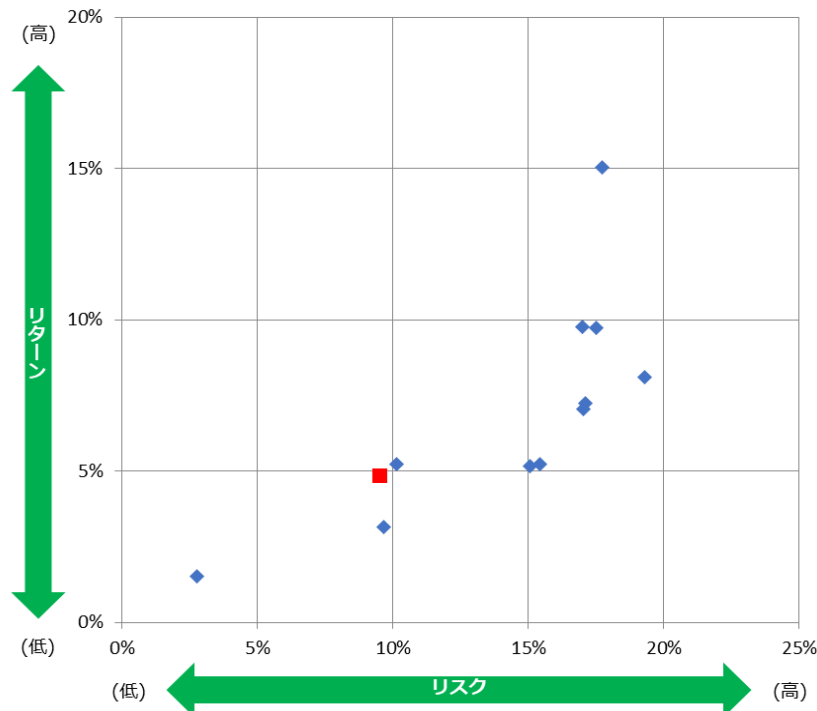
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク9.50%に対して、平均リターンは4.84%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



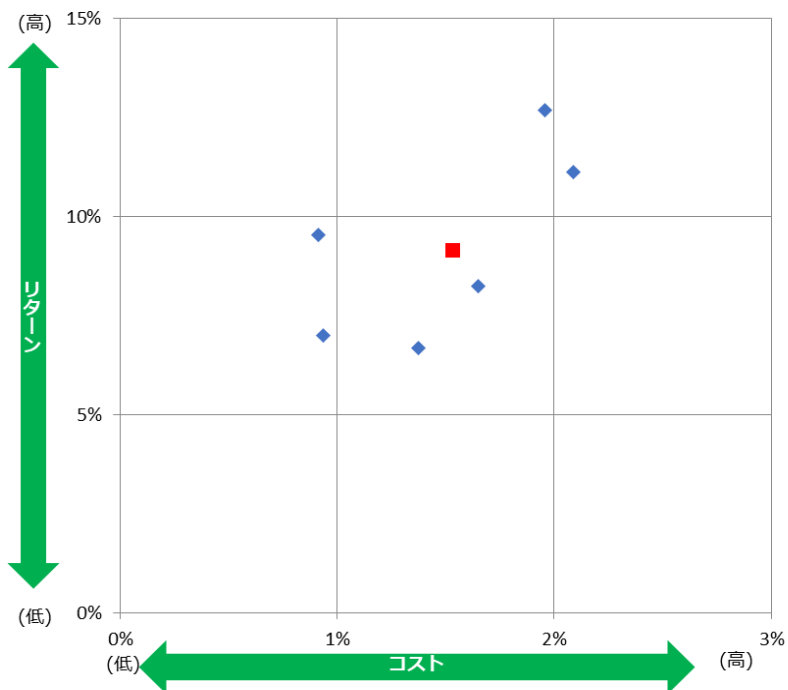
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

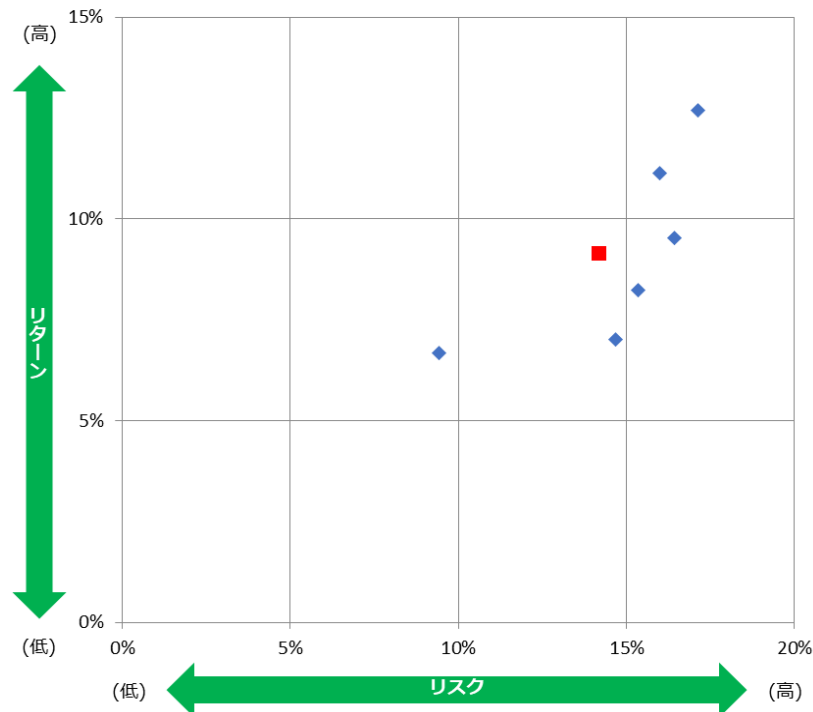
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.53%、平均リスク14.17%に対して、平均リターンは9.14%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



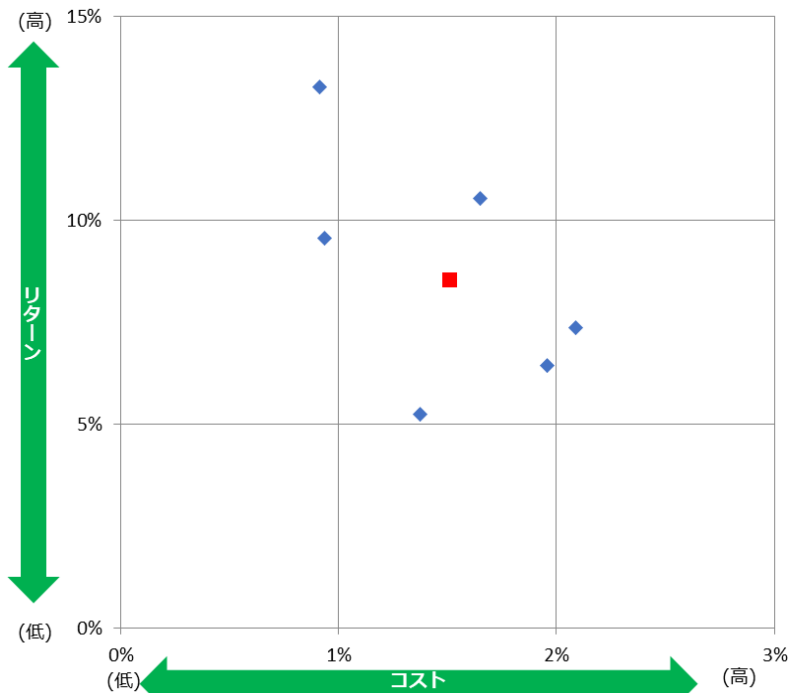
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

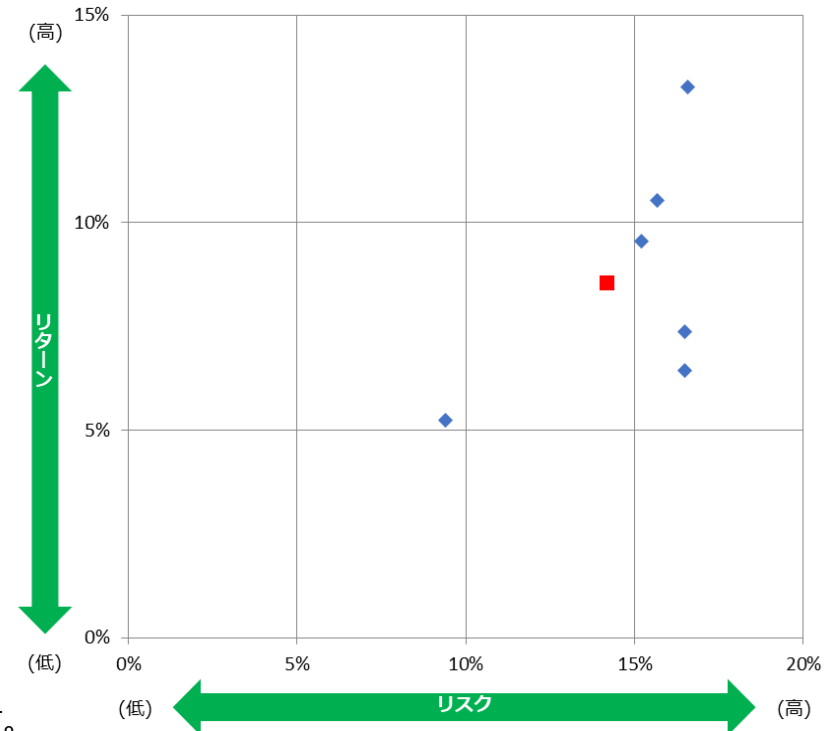
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

- 2021年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.51%、平均リスク14.18%に対して、平均リターンは8.54%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	Oneニッポン債券オープン	アセットマネジメントOne (株)	1.52%	2.76%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	3.16%	9.68%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント (株)	5.23%	10.14%	1.38%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.05%	17.04%	0.91%
6	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	9.76%	16.99%	2.09%
7	JA日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.24%	15.43%	1.65%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント (株)	8.09%	19.30%	1.96%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	JATOPPIXオープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	5.17%	15.06%	0.94%
11	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	9.73%	17.50%	1.54%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		4.84%	9.50%	1.10%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	6.67%	9.44%	1.38%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3	J A 海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
4	J A 日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	8.25%	15.35%	1.65%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
6	J A T O P I X オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.00%	14.67%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		9.14%	14.17%	1.53%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2021年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	世界の財産3分法ファンド(毎月分配型)	日興アセットマネジメント(株)	5.24%	9.39%	1.38%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	13.27%	16.56%	0.91%
3	J A日本株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	10.54%	15.66%	1.65%
4	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.37%	16.49%	2.09%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	6.43%	16.50%	1.96%
6	J A T O P I Xオープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.55%	15.21%	0.94%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.54%	14.18%	1.51%

※ 2021年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は6本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。